|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 音楽科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解や表したい音楽表現をするために必要な技能について  ○　音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことについて  ○　音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことについて |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　表現の活動について  ○　鑑賞の活動について  ○　〔共通事項〕の扱いについて |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |
| ５  創意工夫 | 音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　表現および鑑賞領域での思考、判断し、表現する一連の過程について  ○　言語活動の扱いについて |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| １  目標・内容  の取扱い | 音楽科の目標を達成するために、適切な内容が取りあげられているか。  ○　曲想と音楽の構造などとの関わりについての理解や表したい音楽表現をするために必要な技能について  ○　音楽表現を工夫することや、音楽を味わって聴くことについて  ○　音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培うことについて |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | ○　目次にそれぞれの題材においてつけるべき力が示されている。１つの楽曲で、表現の他の分野や鑑賞を関連付けて学ぶことができる内容となっており、繰り返し学び、技能を習得できるよう取りあげられている。  ○　役割を決めて行う活動や身体表現を取り入れながら、音楽を表現したり、味わって聴いたりできるような内容になっている。  ○　生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、子どもたちが興味をもてる教材を多く取りあげることで、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 |
| 教　芸 | ○　巻頭に１年間の学習の見通しをもてるよう、学習内容が示されている。１つの楽曲で、歌唱と器楽の両方の領域が学べる内容となっており、繰り返し学び、技能を習得できるよう取りあげられている。  ○　話し合う活動や身体表現を取り入れながら、音楽を表現したり、味わって聴いたりできるような内容になっている。  ○　生活や社会と音楽の関わりを取りあげるなど、子どもたちが興味をもてる教材を多く取りあげることで、音楽を愛好する心情と音楽に対する感性を育み、音楽に親しむ態度を養い、豊かな情操を培う内容になっている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ２  人 権 の  取 扱 い | 人権尊重の観点から、選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などが適切に取り扱われているか。  ○　人権への配慮について  ○　ユニバーサルデザインに関する配慮について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | ○　人権を尊重する観点から選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などは適切であり、お互いを尊重し、多様な個性を認める配慮がされている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |
| 教　芸 | ○　人権を尊重する観点から選曲、歌詞、文章、写真、挿絵、図、資料などは適切であり、お互いを尊重し、多様な個性を認める配慮がされている。  ○　すべての児童にとって使いやすくわかりやすいように、フォントや文字の大きさ、レイアウトや図の配色など配慮されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ３  内容の程度 | 児童の発達段階を考慮した内容になっているか。  ○　表現の活動について  ○　鑑賞の活動について  ○　〔共通事項〕の扱いについて |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | 各学年とも児童の発達段階を考慮した内容になっている。  ○　身体表現を取り入れ、教員や友だちと関わりながら題材のねらいに沿った活動ができるように考慮されている。また、「まなびナビ」のコーナーに学びの内容が示されている。  ○　鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして聴く教材となっている。例えば、オーケストラを扱った教材では、オーケストラの配置や楽譜が紹介されるなど、児童が身体的、視覚的に音を結び付けて学習できるように考慮されている。  ○　各ページの右上に「音楽を形づくっている要素」を「音楽のもと」として示されている。また、中高学年には、メモ欄が設けられている。 |
| 教　芸 | 各学年とも児童の発達段階を考慮した内容になっている。  ○　身体表現を取り入れ、教員や友だちと関わりながら題材のねらいに沿った活動できるように考慮されている。また、キャラクターの吹き出しなどにより、学びの内容が示されている。  ○　鑑賞領域では、身体表現を取り入れたり、感じたことを書き込んだりしながら、音楽を感じ取ったり、場面の様子をイメージしたりして聴く教材となっている。例えば、オーケストラを扱った教材では、鑑賞資料として楽器の大きさがイメージできるような写真が紹介されるなど、児童が身体的、視覚的に音を結び付けて学習できるように考慮されている。  ○　各ページの右下に「音楽を形づくっている要素」が示されている。また、題材で身に付ける要素が太字で示されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
| 項　目 | 観　　点 |
| ４  組織・配列 | 各学年の目標や内容を踏まえて、教科等横断的な視点も含め、効果的な指導が行われるよう組織・配列されているか。  ○　単元配列について  ○　ページの構成（本文・写真・挿絵・図・表などの配置）について |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | ○　低中高学年、それぞれ２年間を通して、題材どうしのつながりをもち、学びが深まるように配列されている。また、全学年で「ショートタイムラーニング」として、英語の歌を取り扱っている。    ○　題材のはじめのページの色帯に、題材ごとのねらいが示されている。また、教材ごとに学習のめあてが示されており、その教材で扱う「音楽を形づくっている要素」について右上部に配置しており、学習の見通しや活動が明示されている。 |
| 教　芸 | ○　低中高学年、それぞれ２年間を通して、題材どうしのつながりをもち、学びが深まるように配列されている。また、中高学年では、英語の歌を取り扱っている。  〇　題材のはじめのページの色帯に、題材ごとのねらいが示されている。また、教材ごとに学習のめあてが示されており、その教材で扱う「音楽を形づくっている要素」について右下部に配置しており、学習の見通しや活動が明示されている。 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 観　　点 |
| ５  創意工夫 | 音楽的な見方・考え方を働かせ、主体的・対話的で深い学びが実現するよう工夫されているか。  ○　表現および鑑賞領域での思考、判断し、表現する一連の過程について  ○　言語活動の扱いについて |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | ○　「まなびナビ」のコーナーで、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を進めるヒントが示されている。また、折込みページを活用した大きな写真などを載せることで、曲のイメージを膨らませるよう工夫している。    ○　聴き取ったこと、感じ取ったことを、絵、動作を通して表現し、伝え合うことで、互いの見方・考え方を知り、それを基にさらに言語活動を進めていけるよう段階的な指導が工夫されている。また、教科書に鑑賞領域において書き込む欄が設けられており、自分の思いを表現できるように工夫がされている。 |
| 教　芸 | ○　キャラクターの台詞で、音楽的な見方・考え方を働かせた学習活動を進めるヒントが示されている。また、情景の写真やイラストを載せることで、曲のイメージを膨らませるよう工夫している。  ○　聴き取ったこと、感じ取ったことを、絵、動作を通して表現し、伝え合うことで、互いの見方・考え方を知り、それを基にさらに言語活動を進めていけるよう段階的な指導が工夫されている。また、教科書に鑑賞・表現の両領域において、書き込む欄が設けられており、自分の思いを表現できるように工夫がされている。 |

|  |  |
| --- | --- |
|  | 観　　点 |
| ６  補充的な  学　習・  発展的な  学　習． | 学習した内容を確実に習得できるよう、学習の内容や過程などを振り返ったり、学んだことを生活に生かしたりすることができるよう配慮されているか。  ○　資料やコラムなど |

|  |  |
| --- | --- |
| 発行者 | 事　　項 |
| 教　出 | ○　巻末に「音楽のもとまとめ」「音楽を表すいろいろな言葉」「音ぷや休ふ、記号など」があり、随時、関連事項を振り返ることができるように配慮されている。また、音楽と社会的事象を関連付けるコラム（震災、オリンピックなど）や作詞・作曲者、演奏者の思いも取りあげられている。 |
| 教　芸 | ○　巻頭に「学びの地図」、巻末に「ふりかえりのページ」「いろいろな音符・休符・記号」を掲載し、１年間の学習を見通したり、随時、関連事項を振り返ったりできるように配慮されている。また、音楽と社会的事象を関連付けるコラム（震災、オリンピックなど）や作詞・作曲者、演奏者の思いも取りあげられている。 |